

# TOTO



## ハイドロセラ・フロアPUS

AB662S UFS910系 新設用(排水管新規立上)  
排水心 220mm対応

### 施工説明書

製品の機能が十分発揮される様に、本書の内容にそって正しく取付けてください。

#### 注意

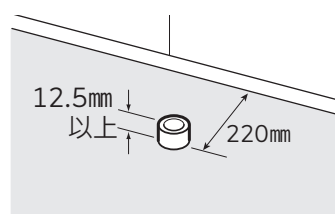
この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、障害又は物的障害が発生する可能性があります。

#### 注意

- PUSの開口部には直接触れない。
- カット面となっており、取扱いの際にケガをする危険があります。フランジ・ソケットは小便器の各種説明書に従って正しく取付けてください。
  - 漏水の原因となります。

#### 施工の前に

- 下地の不陸は「ハイドロセラ・フロアPUS」1枚の範囲で2mm以内としてください。
- 「ハイドロセラ・フロアPUS」を設置する床面は付着物が無いように清掃し、乾燥させた状態で施工してください。
- 長尺シートや既設タイル張りの上からも施工可能です。
- 壁仕上げ後の排水管の位置が正しいか確かめてください。→排水心220mm
- 床置小便器用の場合「ハイドロセラ・フロアPUS」の厚さを考慮し、FLより12.5mm以上立上げてください。

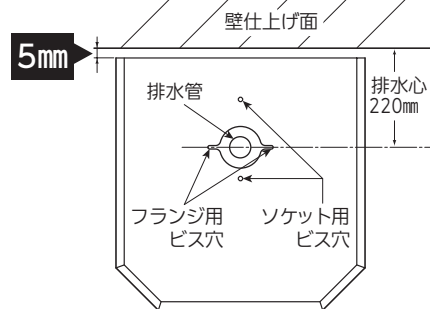


#### 使用工具・材料



接着剤には必ず同送の「専用接着剤」を使用してください。

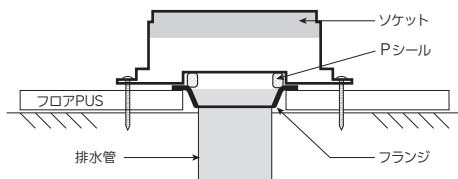
#### 注意



壁との取合いは「5mm」としてください。

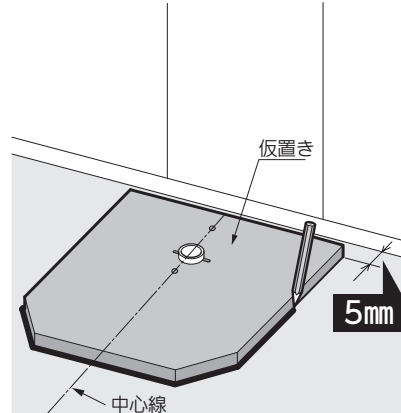
- 「ハイドロセラ・フロアPUS」の開口は、上図のとおり壁との取合いを5mmとすることで中心が220mmになります。
- 取合幅を誤るとビス穴がずれて、ソケットが所定の位置に取付けできない原因となります。
- 一度接着しますと手直しができませんのでご注意ください。

#### フロアPUSと排水金具の納まり



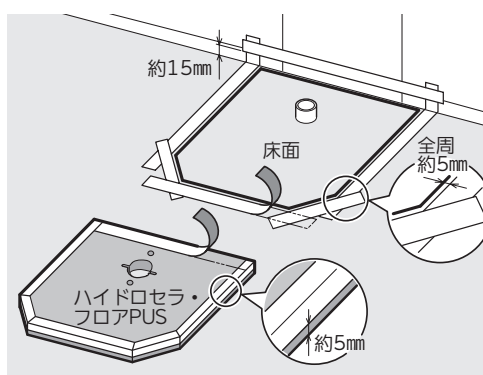
- 排水管をFLより12.5mm以上立上げておく必要があります。
- 既設フランジはそのまま利用できません。
- ソケット部品付属のPシールを使用します。

#### 1.マーキング



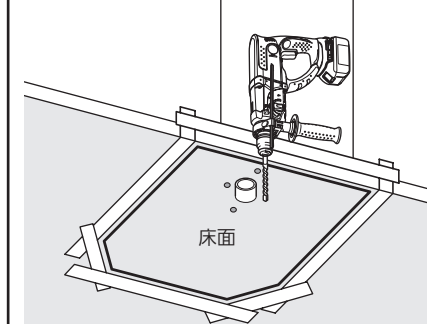
- 排水管と「ハイドロセラ・フロアPUS」の芯を合わせて仮置きする。外形に沿って床面にマーキングする。
- がたつく場合は、アクリルプレートなど(現場手配)で調整してください。

#### 2.マスキングテープ貼り



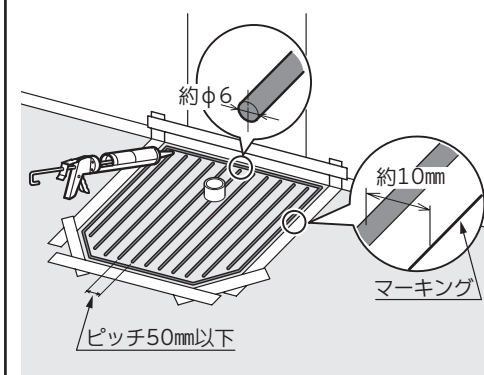
「床面」と「ハイドロセラ・フロアPUS」の両方にマスキングする。

#### 3.下穴あけ



ビス締付け用の下穴は、フロアPUS貼付前にあけてください。貼付後にドリルを使用しますと、フロアPUSが割れる恐れがあります。

#### 4.接着剤塗布



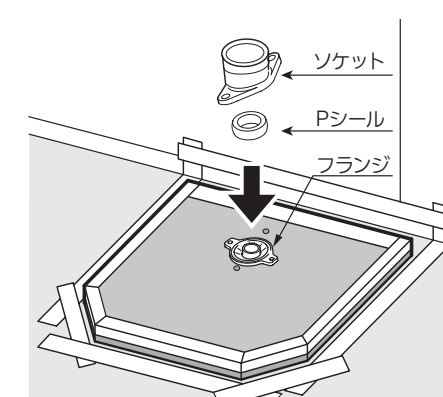
接着剤を床面にコーキングガンで塗る。接着剤は必ず同送している「専用接着剤」を使う。

#### 5.ハイドロセラ・フロアPUS貼付け



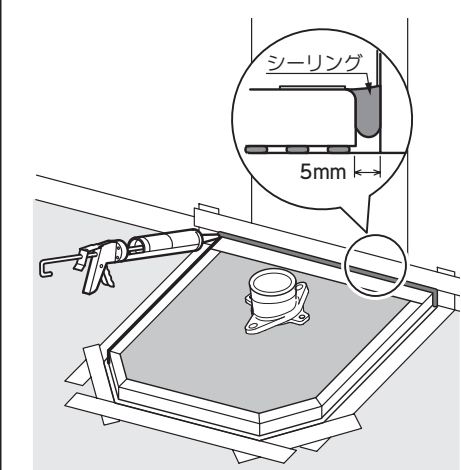
- 注意
- しっかりと圧着する
- 便器設置後に「ハイドロセラ・フロアPUS」が沈み込み、漏水の原因となります。壁との取合いを確認する 5mm
  - ソケットが所定の位置に取付できない原因となります。

#### 6.フランジ、ソケット取付け



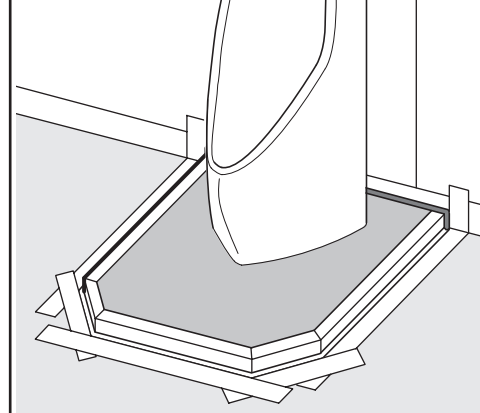
- ソケットにがたつきがないことを確認する。
- フランジ、ソケットを床にしっかりと固定する。ビスの締めすぎに注意してください、フロアPUSが割れる恐れがあります。

#### 7.壁との取合シーリング



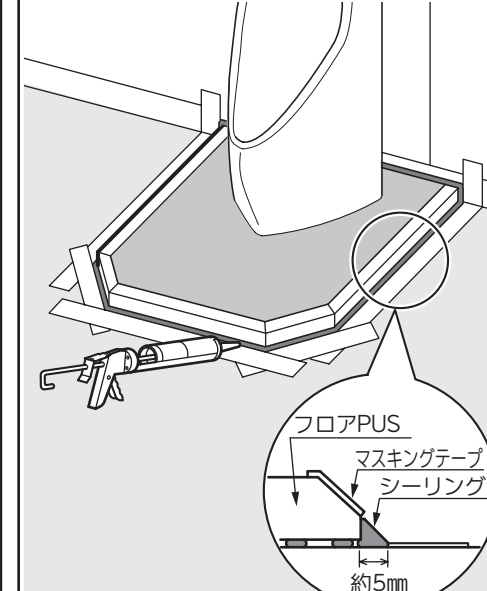
シーリングを塗布した後に、「コーキング用ヘラ」で押さえる。シーリング処理には、同送付属の「専用接着剤」が使用可能です。

#### 8.小便器取付け



小便器設置の際は割れに注意して、ゆっくりと置いてください。  
※床面に排水勾配がついている場合、小便器と「ハイドロセラ・フロアPUS」との間にスキマが生じる場合があります。白セメントやシーリングなどで処理してください。

#### 9.床との取合シーリング



#### 10.養生



マスキングテープをはがして接着剤が硬化するまで養生する。(目安：夏期1日、冬期2日)

# 養生中です!!

月 日まで、上に載らないで下さい。

施工店様へ

この紙を施工後、ハイブロセラ・クロアPUS  
の上に貼って下さい。

養生日数は夏期1日、冬期2日が目安です。